



ふるさとを
想い、まもり、つなげる、拠点施設です。

みなさまへ

お伝えしたいのは、富岡町という「土地」と私どもが経験してきた出来事です。

2011年3月11日まで、そこには「あたりまえの日常」があふれていました。

しかし、東日本大震災の影響で生じた原発事故は、富岡町で暮らすという「あたりまえの日常」を、突然奪いました。

3月12日、町民は、違う土地で暮らす覚悟ができないまま、ふるさとを離れました——

当館は、富岡町の「特徴」と、この地域で生じた自然災害・原発災害の「特徴」を展示しています。

みなさまがお住まいの土地と富岡町の似ているところや異なる点を意識しながら、展示をご覧ください。

そして、ご自身がお住まいの地域で「富岡のような複合災害が起きたら」どうなるか、を想像してみてください。

少しだけ、明日への向き合い方が変わるかもしれません。

◆東京方面から

- ・東京駅→JR常磐線特急ひたち利用（約3時間）→富岡駅→
- ・東京駅→高速バス利用（約4時間20分）→富岡営業所→
- ・常磐自動車道経由一般道利用（約3時間15分）→

◆仙台方面から

- ・仙台駅→JR常磐線特急ひたち利用（約1時間30分）→富岡駅→
- ・常磐自動車道経由一般道利用（約1時間40分）→

◆いわき方面から

- ・いわき駅→JR常磐線利用（約40分）→富岡駅→
- ・いわき駅前→新常磐交通バス利用（約1時間10分）→富岡駅前→

◆富岡駅から当館まで（一般道約2.3km）

- ・タクシーまたは循環バス利用（約5分）

とみおか
アーカイブ・ミュージアム



とみおか アーカイブ ミュージアム

The Historical
Archive Museum
of Tomioka



3.11伝承ロード
震災伝承施設

とみおかアーカイブ・ミュージアム

The Historical Archive Museum of Tomioka



とみっぴー

【開館時間】午前9時から午後5時（最終入館：午後4時30分）

【休館日】毎週月曜（月曜が祝日の場合は翌平日）・年末年始

【住所】〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760番地の1

【TEL】0240-25-8644

収蔵エリア

町民の協力で保全された、
貴重な地域資料を収蔵保存する場所です。
大学等諸機関との連携により
整理・研究する部屋も備えます。

富岡町の成り立ちと 複合災害がもたらした 地域の変化を伝えます

企画展示室

常設展示室

富岡町を中心に地域の歴史とその特徴を伝えるとともに、
地域の運命を変えた震災と原子力災害を歴史の大きな「1ページ」として継承し、
町の経験を将来に世界に発信します。

タウンギャラリー

「こころの復興」に向けた、
町民や地域住民、来館者の交流の場です。
ワークショップなどの事業も行います。

《主な構成》

- 中央商店街模型
- メッセージ展示
- ボールタウン
- シアター（3つの映像）
 - ①東日本大震災～富岡町の記録～
 - ②こころの証言
 - ③旅立ちの時（アニメーション）

地域資料・震災遺産の保全にご協力をお願いします！

富岡町では「震災遺産保全等に関する条例」を
定め、歴史・文化等保存プロジェクトチームを組
織して震災遺産等の保全を進めてきました。
町の歴史を伝える地域資料についての情報提供
を、これからもよろしく願います。



《受け継がれる歴史 麓山神社の火祭り》
400年の歴史を持つとされる麓山神社の火祭り。
8月15日の夜、松明を担いだ男衆が山を駆け上る
伝統行事です。富岡町の歴史、成り立ち、特徴と
は——。土器や古文書、植物、化石、聞き取り記
録など様々な資料から“富岡町の歴史”をひもと
きます。



《被災パトカー 双葉31号》
二人の警察官が乗車し、自らの命をかけて町
民の避難誘導にあたったパトカーは、津波に
のまれ富岡川河口近くで発見されました。
ご遺族や福島県警察のご理解、住民有志の
ご協力のもと、保存できました。災害の記憶
とお二人の勇気ある行動を伝承していきます。

《この地域の日常とは 子安観音像》

安産祈願で多くの住民が祈りを捧げた子安観音。
懐妊した女性はお参りの際、観音様から半てん
や枕を借り受け、無事出産を終えると、お礼に
倍の数にして奉納するのがならわしです。信仰、
習俗など、日々の生活に根ざした“富岡町の文化”
に触れていただけます。



《時計から見る複合災害》

町はいくつもの時計を保全しました。これ
らの時計は保全までに長い時間を要しま
した。震災後すぐの復旧復興の着手すら妨
げられた、原子力被災地特有のことです。
同じ時計でも、それぞれが持つ被災背景
の情報は異なることがわかります。

